学校番号	309

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術 2」　（日本文教出版）						
副教材等	アクリル絵の具、プリント教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デザインについて、特に色彩や文字などの視覚情報について学びます。普段何気なく目にする広告や、身近な商品のパッケージなどを参照しながら、どうすれば人々に情報が伝わるかについて考える契機とします。

2　学習の到達目標

(1)　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
(2)　造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり，自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3)　主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性と美意識を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	目的や機能に基づいて技法や材料の特性を理解し、効果的な表現方法を工夫している。	取り扱う問題と、それをどのようなメッセージ性を以って第三者に伝えるかを明確にして、制作に取り組んでいる。 文字の大きさや配列、図(絵)の配置に気を配り、作品を構成することができる。	主体的に主題を生み出し、意図に応じて創意工夫し、作品制作に取り組もうとしている。 デザインに込められた意図や工夫に目を向け、多様な表現に関心を持っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	作品制作①	◎レイアウト 練習 ◎アクリル絵の具 練習 ◎レタリング 練習 ◎問題提起とビジュアルデザイン(ポスター制作)	a:文字、図(絵)、配色、構成など、デザインの特性を活かして第三者に情報を伝えようとしている。 a:絵の具(アクリル絵の具)の混色を工夫し、多様な絵肌を活かして塗ることができる。 b:身近な問題を掘り下げてテーマとして設定し、ポスターを通して明確なメッセージを伝えようとしている。 b:文字の大きさや配列、図(絵)の配置に気を配り、ポスターを描くことができる。 c:意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創作活動に取り組もうとしている。	作品提出	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート 行動観察

2	作品制作②	◎作品鑑賞(絵本鑑賞) ◎物語とキャラクターのデザイン(絵本製作)	a:文字、図(絵)、配色、構成など、デザインの特性を活かして第三者に情報を伝えようとしている。 a:絵の具(アクリル絵の具)の混色を工夫し、多様な絵肌を活かして塗ることができる。 b: 読者に伝えたいメッセージを明確にし、起承転結のある物語を作ろうとしている。 b:文字の大きさや配列、図(絵)の配置に気を配り、絵本を描くことができる。 c: 意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創作活動に取り組もうとしている。 c: 絵本を読み比べ、多様な表現への理解を深めようとしている。	作品提出	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート 行動観察
	作品制作③	お菓子のパッケージデザイン(紙箱制作)	a:文字、図(絵)、配色、構成など、デザインの特性を活かして第三者に情報を伝えようとしている。 a:絵の具(アクリル絵の具)の混色を工夫し、多様な絵肌を活かして塗ることができる。 b:架空の商品を設定し、それがどんな商品なのか、第三者が想起できるよう工夫している。 b:文字の大きさや配列、図(絵)の配置に気を配り、ポスターを描くことができる。 c:意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創作活動に取り組もうとしている。 c:市販のお菓子の紙箱を比較し、箱の形状や、印字された内容を考察しようとしている。	作品提出	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート 行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度